

塚越広大 レース結果報告

7月8, 9日 2006年 全日本フォーミュラ3選手権シリーズ

第9戦、第10戦 鈴鹿サーキット 参加台数14台

今回の鈴鹿ラウンドでシーズンが折り返しとなり、これまで優勝のない自分にとっては走り慣れた鈴鹿で結果を何とか出そうと試みました。金曜日の最後にクラッシュしてしまいましたが、予選で今期初のダブルポールを獲得し、第9戦ではスタートからトップを走り続け初優勝を挙げる事が出来ました。第10戦は、スタートでエンジンストールさせてしまい13番手まで落ちてしまいました。最終的には2位までポジションを上げてゴールしました。

予選1・・・1'58.197 / 1位

天候・・・晴れ

前日の練習走行の最後にクラッシュしてしまい迎えた予選は思ったよりも気温が高く、早めにアタックしないとタイヤのいいところなくなる可能性がありました。メカニック達の正確な作業のおかげでマシンは完璧に治っていて、マシンセットが決まっていたので思い切り攻める事が出来ました。

2周アタックしてクールラップを入れてもう1度アタックしました。でも、タイムを更新する事が出来ず、2周目のタイムでポールポジションを獲得する事が出来ました。

予選2・・・1'57.424 / 1位

天候・・・晴れ

10分間のインターバルの間にマシンセットを少し変更して2回目の予選に臨みました。2周しかアタックのチャンスがなかったので集中しました。セッティングの変更がさらにタイムアップにつながり2位とのタイム差を0,5秒まで開く事が出来ました。ベストタイムが出てクールラップを入れもう1度アタックしましたが、他車に追いついてしまったためタイヤのことを考え早めに切り上げました。

第9戦 決勝・・・1位

天候・・・晴れ

8日の午後に行われた決勝は12周で争われました。

スタートして1コーナーの進入で横に並ばれそうになりましたが、うまく抑えることに成功してトップのまま1周目を終えました。マシンの調子がとてもよく毎週ファーストラップを更新しながら走ることが出来ました。出来る限り2位を引き離そうと走り8秒890の差をつけてF3初優勝を飾ることが出来ました。



第10戦 決勝・・・2位

天候・・・曇り

日曜日に行われた第10戦は17周で行われました。雨の予報だったのですが、ドライコンディションのままレースが行われました。

第9戦と同じようにスタートしようとしたのですが信号が変わったと同時にエンジンストールさせてしまいました。すぐ再スタートしましたが、2コーナー立ち上がりでスピンしたマシンをよけようとラインを取ったところに急減速したマシンが目の前に来て接触してしまい13番手までポジションを落としてしまいました。前回の鈴鹿ラウンドでは早々にミスをしてしまいレースを台無しにしてしまったこともあり、同じミスをしないように心がけま



した。接触した影響もなくマシンの調子が本当によかったので12番手で1周目終え、翌周には2台を抜き、さらに1コーナーと130Rで抜いていきましたが6番手をなかなかかわすことが出来ませんでした。そして、レースの11周目あたりから雨が降り始めたのをきっかけにまた順位を上げることが出来、最終ラップを3番手で通過しました。そして、スプーンコーナー立ち上がりで合わせて130Rで2番手に上がりそのままチェッカーを受けました。

今回待ちに待った優勝を上げることが出来ました。監督、チームスタッフ、応援して下さった皆さんに本当に感謝しています。しかし、第10戦のレースでまたしてもスタートでミスしてしまいせっかくの流れを台無しにしてしまいました。もう1度スタートに関して検証して確実なものにできるよう対策します。

次回は、初走行となるオートポリスでも今回のようなパフォーマンスを出したいと思います。

次回レース・・・8月5, 6日 オートポリス

塚越広大